



船弁慶

前後之替

【第一日】
令和三年三月十九日(金)
時間 ● 午後六時三十分開演(開場午後六時)
会場 ● 徳島県立二十一世紀館すだちくん森のシアター
定員 ● 四〇〇名

入場無料・事前申込

◆ろうそく能で上演します。

能楽へのご招待

主催 徳島県立二十一世紀館

文化の森開園30周年記念公演

鞍馬天狗 白頭

狂言 寝音曲



【第二日】
令和三年三月二十日(土・祝)
時間 ● 午後二時開演(開場午後一時三十分)
会場 ● 徳島県立二十一世紀館すだちくん森のシアター
定員 ● 四〇〇名

入場無料・事前申込

解説

橋本 ハル子

仕舞

嵐山 浦部 幸裕
 笹之段 井上 裕久
 善界 浅井 通昭
 寺澤 拓海
 寺澤 幸祐
 勝部 延和
 橋本 光史

休憩（一〇分）

能

源義経 吉浪 咲紀
 静御前 吉浪 壽晃
 平知盛ノ怨霊

船弁慶

前後之替

間

有松 遼一
 船頭 小笠原由禰
 吉田 篤史 橋本ハル子 浦部 幸裕
 後見 浅井通昭 地謡 寺澤 拓海 井上 裕久
 寺澤 幸祐 橋本 光史 勝部 延和

附 祝 言

終演予定午後八時頃

能【船弁慶（ふなべんけい）】あらすじ

兄頼朝から追われる身となった源義経は、弁慶らと共に都を出て、西国へ逃れようとする。静御前も義経を慕いついて来るが、時節柄似つかわしくないので都へ戻すことにする。義経の意向を伝えるべく、弁慶が静の宿所を訪ねるが、静は弁慶の計らいであろうと思ひ、義経に会って直接返事をすると言う。義経と対面し、直接帰京を言い渡された静は泣き伏し悲しむ。名残の酒宴が開かれ、静は悲しみを堪え別れの舞を舞い、涙ながらに一行を見送る。義経一行が船出をすると、俄かに風が変わり、激しい波が押し寄せてくる。吹き荒れた海上に、西国で滅んだ平家一門の亡霊が現れ、平知盛の怨霊が、義経を海に沈めようと長刀を持って襲いかかってくる。義経は少しも騒がず戦い、弁慶も数珠を揉んで祈禱すると、亡霊は次第に遠ざかり波間に消え去る。小書（特殊演出）「前後之替（ぜんごのかえ）」の節は、前場・後場ともに通常と演出が変わり、前場では、静が舞の途中橋掛りへ退いて涙を流す型が入り、後場では、知盛の名乗りが幕の内（半幕）となり、謡にも緩急が付くなど変化に富む。

嵐山【あらしやま】

吉野の桜を移し植えた、京都嵐山の花盛りを愛で、栄える春のめでたさをたたえる。仕舞では終盤の、蔵王権現が花にたわむれ栄える春を謳歌する場面を勇壮に舞う。

笹之段【ささのだん】

百萬という名の女曲舞（おんなくせまい）が、嵯峨大念仏の群衆の中で、生き別れた我が子と再会する物語。

仕舞では、子を探しながら笹（仕舞では扇）を手に狂い舞う母をみせる。

善界【ぜがい】

善界坊という天狗が日本の仏法をさまたげようと、中国から渡来するが、比叡山飯室（いむろ）の僧正に祈られ退散する。仕舞では、その最後の場面を力強く描く。



よしなみとしあき 吉浪 壽晃

観世流シテ方 父は故吉浪準一
 故井上嘉介・井上裕久に師事 東京藝術大学卒業
 同大学にて二十五世観世宗家故観世左近・
 故藤波重満に師事
 吉浪松順会・吉浪壽晃の会を主宰
 国指定重要無形文化財「能楽」認定保持者
 （公益社団法人）京都観世会理事
 （公益社団法人）能楽協会京都支部常議員

解説

橋本 ハル子

仕舞

淡路 勝部 延和
 草子洗小町 寺澤 幸祐
 山姥 吉浪 壽晃
 寺澤 拓海
 浦部 幸裕
 浅井 通昭
 吉田 篤史

狂言

小笠原由禰 主人 泉 慎也

休憩（一〇分）

能

花見ノ稚児 吉浪 咲紀
 花見ノ稚児 米原 夕津季
 花見ノ稚児 英 嘉倫
 花見ノ稚児 米原 杏純葉
 牛若丸 吉浪 絢音

山伏 井上 裕久
 天狗

鞍馬天狗

間

有松 遼一 大鼓 山本 寿弥 大鼓 中田 一葉
 白頭 岡 充 小鼓 久田陽春子 笛 斉藤 敦
 能力 小笠原由禰 慎也
 木葉天狗 泉
 後見 吉浪 壽晃 地謡 寺澤 拓海 寺澤 幸祐
 橋本ハル子 吉田 篤史 勝部 延和
 橋本 光史 浦部 幸裕 浅井 通昭

附 祝 言

終演予定午後四時頃



いのうえひろひさ 井上 裕久

観世流シテ方 京都市在住
 二十五世宗家故観世左近・
 二十六世宗家観世清和及び
 父九世故井上嘉介に師事
 国指定重要無形文化財「能楽」技能認定者
 能楽協会理事他役職多数
 平成三十一年一月 京都府文化賞功労賞受賞

能【鞍馬天狗（くらまてんぐ）】あらすじ

春の京都、鞍馬寺の花見と聞き、鞍馬山の奥、僧正ヶ谷に住む山伏が寺に現われる。稚児を伴った鞍馬寺の僧たちが、花見の宴を楽しんでいて、その場に先の山伏が居合わせる。場違いな者の同席を嫌がった僧は、稚児たちを連れて退席してしまう。一人残った沙那王（牛若丸）は、山伏に声をかけ、ほかの稚児は皆、今を時めく平家一門で大事にされ、自分は不遇であると言う。山伏は花見の名所を見せるなどして牛若を慰め、その後、自分は鞍馬山の小天狗であると正体を明かし、兵法を伝授するゆえ、驕る平家を滅ぼすよう勧め、再会を約束して立ち去る。やがて長刀を持った牛若が待つところへ、大天狗が威厳に満ちた堂々たる姿を現わす。大天狗は、師匠に誠心誠意仕え、兵法の奥義を伝授された、漢の張良の故事を語り聞かせる。そして兵法の秘伝を残りなく伝え、平家を討つべく牛若を励まし別れを告げる。名残を惜しむ牛若に、将来の平家との戦いで必ず力になると約束し、大天狗は、夕闇の鞍馬山を翔けて飛び去る。白頭の小書（特殊演出）の際は、大天狗の威厳ある姿が常よりも強調される。

淡路【あわじ】

伊弉諾（いざなぎ）・伊弉冉（いざなみ）の二神と国土の始まりについての物語。伊弉諾尊が現われて舞を舞い、淡路島ができたいわれを示す。

仕舞では終盤の、伊弉諾尊が淡路島のいわれを語る場面を勇壮に舞う。

草子洗小町【そうしあらいこまち】

内裏での歌合せの席で、小野小町の歌を大伴黒主から古歌と訴えられるが、小町は疑いを晴らし、めでたく舞を舞う。

仕舞では終盤の、和歌をたたえてめでたく舞う場面を見せる。

山姥【やまんば】

善光寺へ向かう百萬山姥一行の前に山姥が現われ、山姥の曲舞を舞ってみせる。仕舞では終盤の、山廻りの様子を見せる場面を力強く舞う。

狂言【寝音曲（ねおんぎょく）】

偶然初めて太郎冠者の謡を聞いた主人は、早速呼び出して謡を聞かせるよう所望する。うっかり応じ、今後再々謡わせられては迷惑だと考えた太郎冠者は一計を案じ・・・。

◆狂言とは

型（演技）と室町時代の言葉の面影を残すセリフから成る台詞劇です。基本、素顔で演じ、特別な役の場合に「狂言面」を使用します。庶民の日常を明るく描き、笑いを誘う失敗談から、しみじみと趣のあるストーリーまで、曲目は多岐にわたります。

観覧の申込みについて

1 観覧対象者

徳島県在住の方

2 申込方法

往復はがきにより、お申込みください。

1枚につき5名までお申込みいただけます。

「観覧希望日」「観覧希望者全員の氏名

(フリガナ)・お住まいの市町村名」

「電話番号(申込者)」を必ずご記入ください。

ご用意できる車椅子席は、3席となります。

<input type="checkbox"/> 〒770-8070 往信 徳島市八万町向寺山 徳島県立 21 世紀館 能楽へのご招待係行	(空白のまま) <input type="checkbox"/> 〒(申込者の郵便番号) 返信 (申込者の住所・氏名)	<記入例> ●観覧希望日 「3月19日」または 「3月20日」を記入 ●観覧希望者全員の 氏名(フリガナ)・ 市町村名 車椅子席を希望される方は 「車椅子席希望」と記入 ●電話番号 ※申込者 (返信はがきの受取人)
---	--	--

3 2日間とも観覧を希望される場合

「3月19日」「3月20日」の両日、観覧をお申込みいただけますが、往復はがきは、観覧希望日1日につき1枚となりますので、ご注意ください。

※往復はがき1枚に、「3月19日」「3月20日」の2日間を記載された場合は、無効とさせていただきますことがあります。

4 申込回数

観覧希望日1日につき、お一人1回とさせていただきます。

※複数の往復はがきに同一の氏名が記載されている場合、2枚目以降は無効となりますので、ご了承ください。

5 申込締切

令和3年3月4日(木) 必着

6 観覧者の決定

観覧希望者数が定員(各公演400名)を超えた場合は、抽選により決定します。

また、返信はがきに「観覧の可否」「連絡事項」等を記載して、3月13日(土)頃までにお送りします。

7 その他(公演を中止する場合)

新型コロナウイルス感染症の感染状況により、中止となる場合があります。

中止のご連絡は、返信はがきをお送りするまでに決定した場合は返信はがきにより、返信はがき送付後に決定した場合は、3月19日の午前10時までに県立21世紀館ホームページに掲載します。

8 お問い合わせ先

徳島県立21世紀館 企画広報担当

〒770-8070 徳島市八万町向寺山

TEL:088-668-1111 FAX:088-668-7196 メール:c21_iken@bunmori.tokushima.jp

新型コロナウイルス感染症の感染防止対策のご協力とお願い

- ・来場時には、手指の消毒、マスクの着用、入場前の検温等にご協力ください。
- ・体調が悪い場合は、ご来場をお控えください。
- ・当公演は、収容人数の50パーセント以下の客席数で実施しますので、アリーナに仮設する客席を除き、横1席空けてお座りいただきます。また、客席での会話は、なるべくお控えください。
- ・密な状態を回避するため、時間差入場・分散退場の実施を予定しています。
時間差入場の詳細については、返信はがきにより、分散退場については、当日の会場アナウンス等でご案内します。
- ・接触機会軽減のため、出演者へのプレゼントや差し入れ等はお控えください。
- ・来場者から感染者等が発生した場合、感染拡大防止のため、観覧者の氏名・申込者の電話番号等、往復はがきに記載いただいた個人情報を、必要に応じて保健所等の公的機関に提供することがありますので、ご了承ください。